

建設進む(仮称)アートセンター

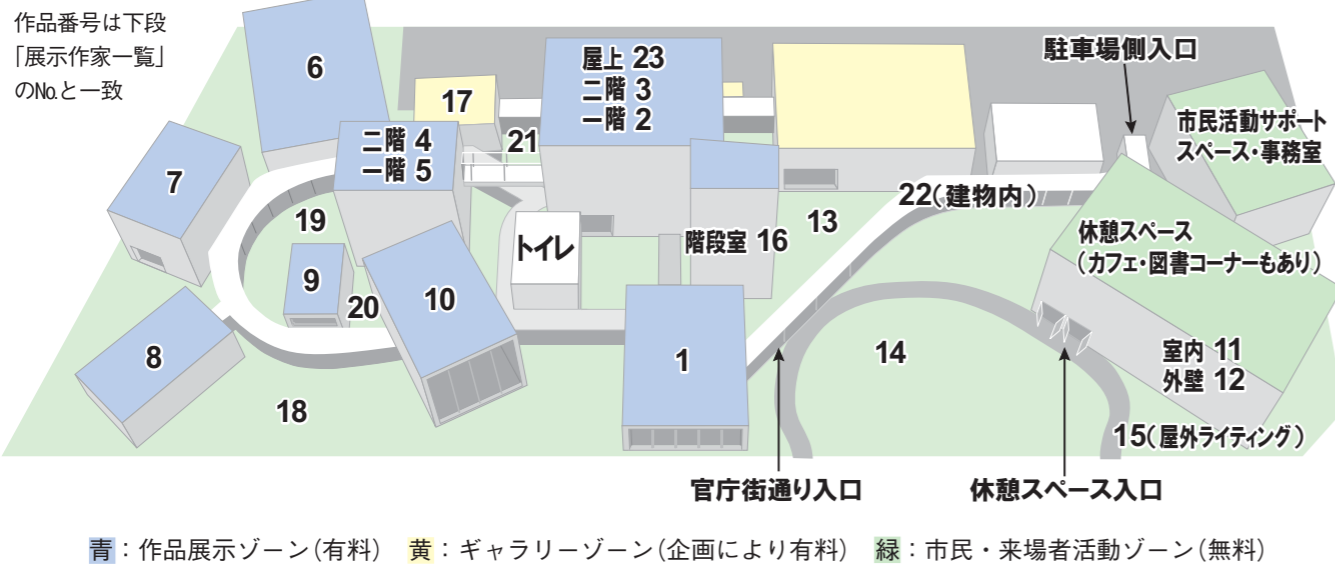
問い合わせ先 企画調整課 (☎③5111内線162)



野外芸術文化ゾーンの拠点施設である(仮称)アートセンターは、平成20年4月の開館に向けて、12月末現在、基礎工事が進み、躯体の立ち上げに入っています。秋ごろには白亜の建物群が官庁街通りに姿を現します。

さて、このアートセンターにはどのような作品が展示されるのでしょうか？その一部をご紹介します。

アートセンターイメージ図



(仮称)アートセンターに展示されるのは、オノ・ヨーコさんはじめ世界各国で活躍するアーティストが制作したアート作品23点です。すべてアートセンターのために制作された新作であり、ここ十和田市でしか出会うことのできない独自性を持った作品展示を予定しています。

作品は、空間全体・光や水などを用いて構成した作品、映像作品など多様な形態があります。従来の視覚による作品鑑賞にとどまることなく、人々がアート作品を身体全体で体験できる構成となります。

作品の紹介は、順次広報でお知らせしていきます、お楽しみに！

● 展示作家一覧 ●

No.	アーティスト	出身
1	ジム・ランビー	イギリス
2	ロン・ミュエク	オーストラリア
3	マリール・ノイデッカー	ドイツ
4	ボッレ・セートレ	ノルウェー
5	キム・チャンギョム	韓国
6	ハンス・オブ・デ・ビーク	ベルギー
7	トーマス・サラセノ	アルゼンチン
8	アナ・ラウラ・アラエズ	スペイン
9	栗林 隆	日本
10	スウ・ドーホー	韓国
11	マイケル・リン	台湾
12	ポール・モリソン	イギリス
13	アーウィン・ワーム	オーストラリア
14	チェ・ジョンファ	韓国
15	高橋 匡太	日本
16	フェデリコ・エレロ	コスタリカ
17	ジェニファー・スタインカンブ	アメリカ
18	椿 昇	日本
19	オノ・ヨーコ	日本
20	森北 伸	日本
21	山本 修路	日本
22	山極 満博	日本
23	フェデリコ・エレロ	コスタリカ



休憩スペースの床面を飾るマイケル・リンの作品(参考作品)
"DEN HAAG", Atrium Stadhuis Den Haag (City Hall - The Hague, Netherlands), 12.07-08.09.2002, Courtesy Stroom - The Hague, Netherlands, Photo Hein van Liempd

Q & A アートセンターとアート作品

●作品はどのようにして選んだの？

平成17年度から専門家による「アート作品検討委員会」(委員長：南條史生・森美術館館長)を組織し、設置する作品の選定を行っています。作品選定にあたっては、複数の作家に設置場所、作品規模、作品形態に応じた提案を依頼し、展示場所ごとにもっともふさわしい作品を選定しました。

●地元作家の作品は展示されるの？

作品展示ゾーンには地元(十和田市)出身作家の展示はありませんが、3カ所あるギャラリースペースにおいて、地元作家や美術団体、学校の美術部などによる作品展示ができるよう計画しています。市では今後、これらの団体との連携を積極的に進めていきます。

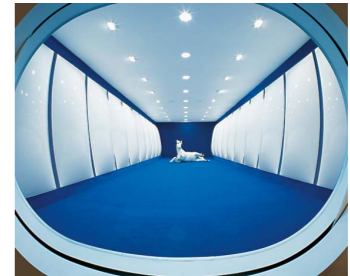
●今後の整備計画は？

(仮称)アートセンター完成後の平成20・21年度にはアートセンター向かいの税務署跡地、労働基準監督署跡

地の整備を進めていきます。これらの敷地には、大型のアート作品である「シンボルアート」が設置されます。

●現代アートって難しくない？

現代アートは一見難しそうなイメージがありますが、アートセンターでは、教科書や美術雑誌だけでは感じることのできない、多様な表現や考え方を体験できます。現代アートは、今を生きるアーティストがわたしたちを取り巻く世界の断片を作品に写し出したものなのです。どうぞ皆さんの感性で、自由に作品を楽しんでください。



立体作品の例(ボッレ・セートレ作品)
"My Private Sky (unit 1/trauma white)", 2001, Courtesy of Galleri WANG, Oslo, Copyright BORRE SÆTHRE 2006 (参考作品)



映像作品の例(キム・チャンギョム作品)
"memory in the mirror", Copyright Kim Changkyom ((仮称)アートセンターのための提案作品)

アートセンターに期待します。

杉山 淑子さん(東十六番町、十和田中学校美術教諭)



教え子と

青森県は、都市部から見るとなかなか生の芸術作品に触れる機会がありませんでした。このたびのセンター開設は、子どもたちの豊かな情操教育一翼を担うことであり、誠に喜ばしい限りです。未完成の子ども

の能力は無限です。幼いうちから、遊びながらの生活文化の体験は、未来の子どもたちへのプレゼントになることでしょう。

中野渡 明美さん(深持字山ノ下、主婦)



子どもと

「何かやっているね」とベビーカーを押しながら散歩中の親子が入って行けるような開かれた施設であってほしいです。ワークショップ開催時

などには、託児もあると子育て奮闘中のお母さんたちも参加しやすく交流の場が持てると思います。自主制作映画やドキュメンタリー映画などの上映も期待します

前田 暁さん(東二十三番町、大学生)



美術部の仲間と(右から3番目)

十和田市にアートセンターができることは、美術に興味・関心を持つ良い機会になると思います。また、作品の展示やイベントへの参加により、十和田市民と学生の交流の場としていきたいです。特に、イベントなどに参加・体験することで、アートを通して市民と学生との交流を積極的に行っていきたいです。

お知らせ

名称を投票してください！

いよいよ、野外芸術文化ゾーン拠点施設〔(仮称)アートセンター〕の正式名称を決定することになりました。市および専門家などにより検討された次の10案より、皆さんが「これだ」と思う案に投票してください。上位5位のうちから選考委員が選考し決定します。

1. 名称候補

- ★十和田アートミュージアム★トワダアートギャラリー
- ★十和田野外芸術センター ★アートセンター十和田
- ★十和田アートセンター
- ★ストリートミュージアム十和田
- ★十和田駒街道美術館 ★とわだ現代美術館
- ★十和田市現代美術館 ★トワダアートセンター

2. 締め切り日 1月31日

3. 投票方法

選んだ名称と住所・氏名をご記入の上、はがき、FAX、メールでご応募ください。1人1通でお願いします。〒034-8615



完成予想図

十和田市西十二番町6-1市企画調整課「名称投票」係 FAX 0176-24-9616

メール towada-kikaku@net.pref.aomori.jp

4. 名称の決定時期 3月末

5. その他

投票者の中から抽選で10人に記念品をプレゼント

★詳しい応募要領は市ホームページをご参照ください。

http://www.net.pref.aomori.jp/city/towada/「お知らせ」欄